

生産性向上支援訓練の活用事例

《生産管理分野》

【会社概要】 セラミック部品の加工など各種素材の精密加工を中心とした製造業

訓練受講のきっかけ（経緯）

同社ではこれまで、一部技能系訓練は実施していたものの体系化できておらず 生産管理等を管理者層に実施したいとの意向が元々あった。訪問時の勧奨、説明に「渡りに舟」と幹部より訓練実施希望の意向を示していただき、ニーズ把握など具体的な検討を行った。

【訓練コース】 生産計画と工程管理

- ① 合理的な工程管理、納期管理の社内ルールの制度化と共有化
- ② グループワーク等を通じたボトムアップによる社員全体の活性化
- ③ 今後の訓練体系の確立と定着に向けた人材育成施策の開始

訓練の実施状況

訓練の概要

- 平成30年1月、2月の土曜日に4時間を3回、計12時間。
対象は管理職、中堅社員で11名参加。
- 主な内容
 - ① 工程管理、生産管理の理論と考え方の習得
 - ② 改善活動における実践事例の紹介と定着のためのルール化
 - ③ 演習を通じた自職場における課題提起と解決策の検討

実施機関・講師紹介

【実施機関】 (株)パック協会
【講師】 日高 武久 氏



受講した感想

【受講者の声】

- 5 S の具体案を勉強でき自職場で改善できそうな点が多々あった。
- 生産性向上の為のムダの見つけ方、トラブル対象法など、実際にあった事例でわかり易く教えてもらえた。これから役立てていきたい。
- グループ演習で、他部署からの指摘で自分で気づかなかった問題点を認識できた。
- 新たな用語や知識、他社の改善事例などを習得できた。

【事業主の声】

- これまで訓練受講の機会があまりなく、従業員にはいい刺激になり、意欲の向上及び職場の活性化につながったと思う。
- 訓練体系を意識しつつ、次の訓練を計画していきたい。